

敬愛

甲斐市立敷島中学校
学校だより 第11号
平成30年12月20日
発行 長田 靖

一人一役全員主役の82日間 大きな実りを付けた敷中の2学期

2学期の始業式は8月23日（木）、記録によると天気は晴れのち雨、その後くもりで最高気温は33.2° と、厳しい残暑の中で2学期が始まりました（ちなみに、今朝は0° でした）。その2学期も大詰めとなり、今日が三者懇談最終日、残すのは明日の終業式だけです。毎年同じようなことを言っていますが、月日が経つのは本当に早いものです。

始業式で、私は「2学期には、**個人と集団の力を存分に発揮できる場面がたくさん用意されている。日常活動や様々な行事の中で力をさらに伸ばし、大きな実りを付ける日々にしてほしい**」と話しました。体育館の蒸し暑さの中、生徒が落ち着いて話を聞いてくれる様子に、きっとそれぞれに充実した夏休みを過ごせたのだろう、大人になったなと感じました。



たくさんの行事や取組が続いた（忙しい）2学期でした。年輪祭が行われた9月を皮切りに、10月には1・2年生の中巨摩新人戦、2年生の職場体験、新コースによる強歩大会、11月の合唱祭、3年生は2回の教達検と進路相談、デートDVや選挙、スマホ、福祉等、各学年での学習会、そして今月は今日までの三者懇談と、充実した日々を過ごしてここまで来ました。

文化面であれ、体育面であれ、行事の度に生徒たちが見せる若者らしい姿、一人一人のがんばりが学級や学年、学校全体という集団に集約された時のエネルギーのすごさには、毎回とても驚かされると同時に感動させられました。「一人一役全員主役！」そのものでした。生徒たちの活躍を伝える学校だよりを書くとき、またホームページを更新する際は、自然と力が入りました。



さて、今日まで2学期を振り返る三者懇談が行われました。お子さんの2学期、82日間はいかがだったでしょうか。1学期や昨年と比べて、成長が見られたのはどんなことで、また克服させたい課題があるのはどこでしょうか。

中学校卒業後の進路を決定する時期に入った3年生は、進路希望実現のための取組に全力を傾けなければなりません。折り返しを過ぎ、中学校生活の後半に入っている2年生には、来年の今頃の自分をイメージして、そこから逆算して今を見つめた生活をスタートさせてほしいと思います。1年生は、いい意味での緊張感が薄れ、中学校生活への慣れが顔を覗かせていないでしょうか…。子どもたちには「**もう一人の自分**」を意識させ、自分自身を客観的に見つめる目を育ててほしいものです。

上に述べたことは、どれも子どもだけでは十分に取り組めるものではなく、保護者の協力と励ましが欠かせません。暮れの忙しい時期とは存じますが、親子・家族で話し合う機会を持ち、具体的な一歩が踏み出せるように支援していただきたいと願っています。



暦の話 題 …平成最後の^{おおみそか}大晦日

12月も半ば過ぎ、今年も残りわずかとなりました。12月はクリスマスや年末年始の準備で忙しい月です。

昔は、お盆だけでなくお正月にも先祖の霊を供養していたことから、お坊さん（師）がお経をあげるために西へ東へと走り回っていた様子から、「^{しわざ}師走」と呼ばれています。

12月31日は1年の最後の日、大晦日です。日本の大晦日には、各地で様々な伝統や風習がありますが、多くの人食べる「年越しそば」もそのひとつです。縁起を担いで大晦日に食べるそばで、定着したのは江戸時代と言われています。そばは、他の麺類よりも切れやすいことから、「今年1年の厄災を断ち切る」という意味で、年越し前に食べるとも言われています。



また、深夜の0時を挟んで「除夜の鐘」が突かれます。鐘は108回突くことになっていますが、107回までは前年の内に突いて、最後の1回は新しい年が明けてから突くという決まりもあるそうです。

ところで、なぜ108回なのでしょう…？

人には108つの^{ぼんのう}煩惱があるとされています。煩惱というのは、人の心を惑わせたり、悩ませたり、苦しめたりする心のはたらきのことです。その煩惱を^{はら}祓うために突くのだそうです。「欲望」や「怒り」、「妬み」、「嫉み」、「執着」など、その煩惱の数だけ鐘を突いて追い払うのです。



このように、伝統や風習には必ず意味があります。毎年、なんとなく同じことを繰り返しているように思いがちですが、「どうしてなんだろう？」と疑問に思って調べたり、人に尋ねたりすればその意味がわかるものです。

とりわけ今年は、平成最後の大晦日となります。生徒の皆さんが生まれたのは、15歳になった3年生の平成15年から、来年13歳を迎える早生まれの1年生の平成18年まで、ですね。現時点では、皆さんは平成という時代と共に人生を歩んできたこととなります。

時間は過ぎ去るものではなく、積み重なっていくものです。大晦日には、家族で30年間の思い出を語り合ったり、新しい年に思いを馳せたりと、1年の締めくくりと新しい年を気持ちよく迎える準備をしてもらいたいと思います。



ご家庭の皆様へ

今年も1年間、敷島中学校へのご理解とご協力・ご支援をいただきまして、本当にありがとうございました。

世の中では今年、大規模な地震や台風などの災害が続いたり、事故、または事件などによって子どもが犠牲となる悲しいニュースがありました。本校がこうして2学期を締めくくることが出来ますのも、保護者をはじめ皆様のお力添えがあったからこそと、心より感謝しています。

素直で真面目、そして若者らしいエネルギーに溢れる本校の子ども達は、日々の学習や生活、学校行事を通して、学年始めよりも一回り、いえ二回りたくましく成長したと思います。

また、生徒のために労をいとわず、懸命に頑張る職員の姿は、校長としてとても心強く、頼もしく感じています。

学校教育目標の具現化をめざし、子ども達に「確かな学力」と「たくましく生きる力」を付け、信頼される学校づくりに向けて、これからも力を合わせて取り組んで参ります。どうぞよろしく願いいたします。